

08 地域の課題に目を向ける

取組事例

40

SDG s と地元の林業

～ 持続可能な社会づくりのために、地域の林業を学ぼう ～

皇學館中学校 2年生



足場丸太加工体験の様子

実施時期	令和6年9月
実施場所	技術室及び屋外スペース
時間	3時限（50分×3）
対象・人数	中学2年生 16人
講師	森のせんせい2人 （有限会社森下林業）
備考	みえ森づくりサポートセンターによるみえ森林教育出前授業

めざす姿	08 地域の課題に目を向ける （01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、04違いに気づく、06知識・技能を身に付ける）
ねらい	持続可能な森林経営を成り立たせるため、地域の林業にはどのような課題があるのかを考える
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森下林業の歴史と併せて、地元の林業の歴史と宮川との関係について学ぶ ・ 林業がどのようにして利益を得ているのかを、原木市場の取引価格を参考に考える ・ 林業が目指す最終目標の森の姿を参考に、持続可能な社会のために私たちにできることを考える ・ 足場丸太の生産の需要について学ぶ ・ 足場丸太加工の体験を通して、木の香りや質感を感じるとともに、林業作業の大変さを知る
学習指導要領との関連	森林資源・木材生産（中学校社会科） 森林資源と環境（中学校社会科）、持続可能な社会の構築・消費者の権利と責任・加工技術（中学校技術・家庭）、職場体験（中学校総合的な学習の時間）、社会生活と職業生活の接続（中学校特別活動）

取組の内容

宮川と林業の歴史

知る



宮川の水運が戦後の木材需要を支えていたんだ！

森のせんせいに質問

考える



手順を省かず基本通りに伐ること！事故防止にもなる。

木を伐るコツは何ですか？

はじまり

森下林業の紹介

明治時代に創業。薪販売からスタートして私が4代目

知る

原木市場と木材価格

丸太は原木市場で競りにかけられる。

いくらで売れたでしょう？

スギ（約110年生）
直径 48cm
長さ 4m
材積 1.082m³

円



僕が伐ったこの丸太、いくらで売れたかな？

知る

足場丸太についての学習



木の足場丸太で足場を組んで清水寺の修復をしている。

市場で売る足場丸太の加工に今から挑戦するよ！

足場丸太づくり（皮剥き）

一気に剥けるときもちいい！



体験する

切った枝の跡を紙やすりで磨いて凸凹がないように！

休憩

体験する

足場丸太づくり（枝払い）



枝の跡が残らないように丁寧に・・・

知る

手鋸の使い方も教えてもらったよ。

足場丸太づくり（玉切り）

体験する



規格の寸法に伐り揃えて足場丸太の完成!!

自分たちの加工した足場丸太いくらで売れるかな？

ふりかえり

木の皮を剥くというこの時期にしかできない体験ができてよかった。

始めて丸太を切つてすごく疲れたから林業をしている人はすごいと思った。

考える



みなさんが林業を理解することで木が使われる機会が増えたらいいと思います。林業を応援してください！

森林や林業に興味はなかったけど興味を持てた。

・この時生徒が加工した足場丸太は、11月に原木市場で競りにかけられ、地元の森林組合に競り落とされました。

準備物	6mのスギの足場材3本、丸太切り台、ノコギリ、紙やすり、へら（皮むき用）、説明用のパネル、軍手、メジャー、材の見本、ブルーシート
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> 使われている木は、ちゃんと手入れされて、出荷されていることがわかった。 木の値段が思っていた以上に安かったため驚きました。 木を使っている物が多く、林業の人たちがいてくれるおかげで、安心した生活ができているんだなと実感した。 このような木によって、家を建てたり、災害から守ってくれたりしてくれるということを知り、木は自分たちの生活を豊かにしてくれるということがわかった。 林業をしてくださっている方々に感謝の気持ちを持ち、木を大事にしたい。 必要な木以外は伐採しないようにしたい。 木は、多くの場所に使われているということがわかり、木をもっと大切にしていこうと思いました。
学校のコメント	<ul style="list-style-type: none"> バーチャルなものが多い中、今日は木に触れて加工するというリアルな体験を通じて、木のあたたかさを感じる貴重な経験ができたと思う。 生徒たちは、本物の木にふれる機会が少ない様子なので、様々なものに木が使われていることに関心をもった生徒が多かった。 生木が湿っていること、木の値段のことなど、生徒が積極的に話をしてくれました。